



と発展を目指す  
基幹産業の安定化



2月9日、ホテルこばやし(向江町)で「鹿屋の農を語る夕べ」が行われました。これは、事例発表や意見交換を通じて本市の基幹産業である農畜産業の発展を図るために、鹿屋市認定農業者連絡協議会と鹿屋市担い手育成総合支援協議会が共催するもので、4年ぶりの開催。特徴的な取り組みの事例発表のほか、新規就農者15人のうち、当日出席した6人へ就農祝金が贈呈されました。

声援の中で  
串良町を一周



2月4日、串良町内で「第66回串良町内一周駅伝大会」が開催されました。4年ぶりの開催となる今回は小学生の部4チーム、中高生の部2チーム、一般の部8チームが参加。当日は鹿屋警察署や地元消防署などのチームも参加する中、全ての部門をKmitk Jr.所属の選手が制覇しました。沿道からは雨天の中を懸命に走るランナーたちに向けて温かな声援が送られました。

輝北3人が  
全国の舞台で発表



2月1日、輝北小学校6年生の植村青空さん、上川優歩さん、平野日葵さんら3人と関係者が市役所を訪れました。3人は、1月27日に東京都で開催された「令和5年度全国いじめ問題子供サミット」に鹿児島県代表として参加。いじめ問題に対する取り組みや異学年交流に関する活動を、手作りのポスターを使いながら自分たちの言葉でハキハキと発表しました。

邪気を追い払い  
一年の幸せを祈願



1月27日、始良川河川敷で「新春あいら川鬼火焚き」が開催されました。会場では、近隣の児童・園児や町内会が制作した竹や紙の灯籠の灯が幻想的に揺らめく中、あいら川かわまちづくり実行委員会が組み立てたやぐらにかがり火を勢いよく点火。サプライズで花火も打ち上がるなど、来場者は燃え盛る炎の前に幸せに一年を過ごせるよう祈願しました。

「ヒメとヒコ」新章  
感動に包まれる



2月10・11日、市文化会館で高校生ミュージカル「ヒメとヒコ」が上演されました。これは、大隅半島に住む現役高校生による市民参加型創作ミュージカルで、今年で17回目の公演。今回は脚本や演出を新たに「第二章」で、高校生キャストのほか歴代の先輩キャストも多数出演。アップデートされた豪華なミュージカルに、観客は感動に包まれました。

災害義援金で  
被災地支援



2月8日、「令和6年能登半島地震災害義援金」の寄贈式が行われました。これは、1月4日から市役所と総合支所に義援金箱を設置して、能登半島地震の復興支援に係る寄附を呼びかけたもので、2月5日までに374万9,539円が集まりました。災害義援金は鹿屋市社会福祉協議会等を通じ被災地に届けられます。また、同義援金の受け入れは3月29日(金)まで行っています。

絶叫と観客との  
交流で爆笑を呼ぶ



2月3日、リナシティかのやで「サンシャイン池崎の爆裂凱旋ギャラクシー!〜鹿屋よりイエイをこめて〜」が行われました。これは、本市出身のサンシャイン池崎さんが鹿屋で初開催したお笑いライブ。代名詞である絶叫ネタのほか、観客を舞台上げての交流やかのやカンパチロウとのダンスコラボを実施するなど、約2時間叫び・動き続け、ホールを爆笑の渦に巻き込んでいました。

力作184点を  
リナシティに展示



1月27日〜2月4日、リナシティかのやで「第42回鹿屋市美術展」が行われました。これは、創作する喜びや鑑賞する楽しみを体験してもらうことを目的に開催しているもので、洋画や日本画のほか彫刻や写真、手工芸品などの作品合計184点を展示。展示会初日にはオープニングセレモニーがあり、各部門の評価のポイントを審査員が講評し、来場者は真剣に耳を傾けていました。



都市部IT人材と  
人流創出を考える

2月10・11日、かのやグランドホテル(共栄町)で「鹿屋ワーケーションサミット」が行われました。当日は本市へのワーケーション誘致について、デジタル技術を活用した様々なアイデアがチームごとに発表されました。



スマート農業の  
導入事例を学ぶ

2月8日、鹿屋商工会議所で「稼ぐ農業パワーアップ講演会」が開催されました。会では、農林水産省の長谷川明宏調査官によるスマート農業に関する基調講演や、市内外の事業者によるパネルディスカッションが行われました。



被災地のために  
今できる支援を

2月7日、鹿屋上下水道工事協同組合から能登半島地震災害義援金70万9千円が寄贈されました。同組合の赤瀬川威理事長は「直接支援に行くことができた熊本地震の時と比べ遠方のため、今できる支援をしたい」と語りました。



中学校女子ソフトボール  
全国に挑む

2月6日、樋渡DreamGirlsの選手らが市役所を訪れました。岐阜県で開催される「第20回都道府県対抗全日本中学生女子ソフトボール大会」にチームから3選手が県代表として出場することを報告し、試合への意気込みを語りました。



電子図書館×電車  
図書館で学ぶ

2月4日、市立図書館で「かのや市電子図書館×電車」が行われました。会場では、かのや市電子図書館を使った読書のほか、電車の模型展示やペーパークラフト等を作製。子どもたちは電子書籍と電車のコラボを楽しみました。



先進技術の学習  
女子高校舎をVRで体験

1月31日、鹿屋女子高校の生徒が市役所を訪れ、授業の成果発表を行いました。これは同校のPRを想定し、校舎のメタバース空間化のためにプログラミングを学習したものの。市長と教育長がVRゴーグルを着用し、仮想女子高を体験しました。